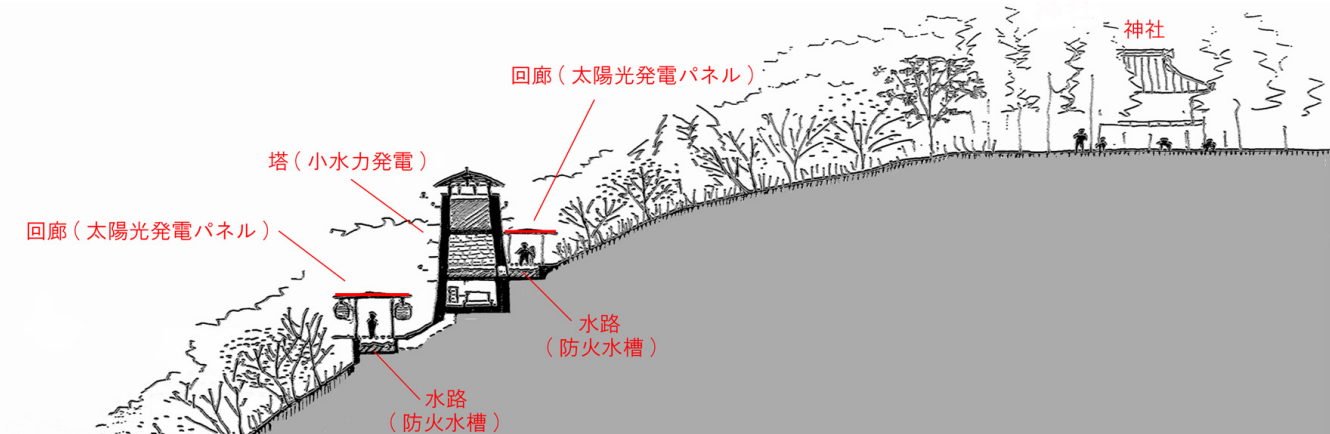
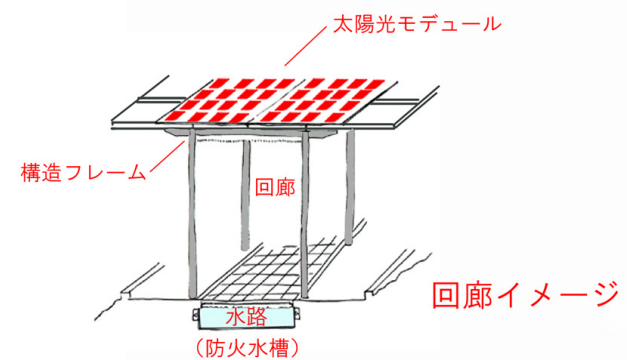


Re: ヘンシンエネルギー

倉敷にある美観地区は、耐震の不安や防災面で不安な古い民家が多く、街中を離れ郊外に住まいを求める住民が増え、空き家が多くなった。また、神社の氏子数も減少し、神社の荒廃が進んでいる。この計画は、神社周囲に二本の太陽光パネルの回廊を設け、美観地区の住民への無償で電力供給する。昼間は太陽光発電エネルギーを使用するが夜間は水の位置エネルギーを発電エネルギーとして使用することで、昼と夜の使用エネルギーを変身させている。また、この水路は古い町並みの防火水槽としての役割を持ち、町の防災性を高める役割もはたしている。さらに、神社周囲の二本の回廊は、ライトアップすることにより、住民空間と区切られた結果となり神聖な神社空間が「ヘンシン」し、町全体も「ヘンシン」していく計画である。



配置模型



断面図